

児童の読書活動を豊かにする取組と、地域と連携した読み聞かせの実践

学校名 熊谷市立中条小学校
所在地 熊谷市上中条892番地1
電話 048-521-3093

1 本校の概要

本校は、児童数147名。隣接した中学校と共に、地域と連携し一体となって、子供たちの育成にあたっている。また、学校教育目標「自ら学ぶ力を育て、豊かな心を培い、心身ともにたくましい児童の育成」を目指し、「学び合い、認め合い、きたえ合い」を校訓に掲げ、学校、家庭、地域とともに子供たちの健やかな成長のため、共に協力して歩んでいる。

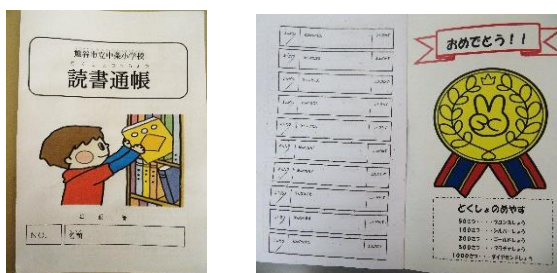
2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ d 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 読書通帳を作成し、目標冊数に達した児童に賞状を渡し、読書の取組を表彰している。



<読書通帳>



<読書賞掲示>

<校長室で一人一人に表彰>

イ 読書月間には、図書委員会が読書の木を作成し、読書数の集計を行い、読書活動を推進している。また、図書集会では、読書の楽しさを伝えている。



<読書の木>



<図書集会>

ウ 低学年は、月に1回の「お話の会」、中・高学年は「本とのふれ合い」事業で読み聞かせを行っている。



<お話の会>

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 読書通帳を作成したことで、読書賞をとるという目標に向かって、日常的に読書をする児童が増えた。
- ・ お話の会や読み聞かせを実施することで、本にふれ合う機会が増え、読書への関心が高まり、読書好きの児童が増えてきている。

(2) 課題

- ・ 読書に積極的に取り組む児童とそうでない児童との差が大きく感じられる。
- ・ 自分から進んで図書室には行かない児童が見受けられる。
- ・ 子供たちが本に興味を持ち、進んで読書に取り組めるように、新刊のお知らせや人気の本の発表等を通して、図書室への入室を促し、読書好きの児童の育成に取り組んでいきたい。

(3) おわりに

子供たちの豊かな心を培い、読書を通して考える力を養うために、地域の方々や施設等と協力しながら、学校全体で読書活動の推進によりいっそう力を入れて取り組んでいきたい。